

2018年度 東京ビジネスデザインアワード テーマ概要(9件)

1 着脱のしやすさと密着強度を兼ね備えた「ファスニング技術」

株式会社エージーリミテッド(港区)



ナイロンの短繊維(パイル)を静電植毛加工して作られた特殊な新素材「Shibaful(シバフル)」。面で着脱できる特性を持ちながら剥離音が小さく、吸着力は弱く剥がすのが容易である反面、横方向の密着強度は相当に高いという特徴を持つ。パイルの長さは2mm、植毛密度は1cm²当たり数千本ある。パイルのカラーとブレンド比率を変えることでカラーは自由に変更できる。

2 “平切子”と“サンドブラスト”を掛け合わせた「特殊硝子加工技術」

GLASS-LAB(江東区)



江戸切子の一種である「平切子」。通常はガラスの口磨きや皿の底面を平らにする技術であるが、線で描く江戸切子と違いガラス等に転用することで様々な仕掛け切子を作ることができる。現在平切子の事業者は全国でも10軒を下回る希少な業種とされており、この技術に光を当てることで新たな可能性を見出したい。

また、砂をコンプレッサーの圧縮した空気で放射する「サンドブラスト」は、0.15mmという極めて細かい彫刻も可能であり、両者の技術を組み合わせることで江戸切子の新たな可能性に着目するものである。

3 ワックス(ロウ)のブレンドにこだわった「キャンドル製造技術」

東洋工業株式会社(江東区)



設立当初より原料調達から生産まで国内にこだわり、最高品質のキャンドルを生産。キャンドルの種類によって異なるワックス(ロウ)のブレンド技術を研究し、造形キャンドルからガラスに流し込むアロマキャンドルなど様々なタイプのキャンドルに適したレシピを開発してきた。ワックスのブレンド方法によって、ガラス充填されたアロマキャンドル、造形キャンドル、ジェルキャンドル、ルームフレグランスのアロマワックス、ハーバリウム、非常用安全ローソク、チャペル用テーパーキャンドル、ティーライトキャンドルなどを作ることができる。

4 90%以上を手作業で行う高度な「革小物製造技術」

株式会社石川(江東区)



革小物(財布等)の製造は、職人の手作業によって支えられている。製造工程は大きく4つに分けられ、工程ごとに専門者がいるほど卓越した技術が必要である。革を薄くする工程では、革漉き機で新聞紙を2枚にスライスできるほどの技術が必要とされ、特に紳士財布において革の厚みは商品全体の仕上がりに繋がり0.1mm単位で調整をする。縫製工程においても角の処理など極めて細やかな作業をする。天然皮革の扱いにも繊細さを必要とし、傷やシワなど同じものが2つと無い素材の個体差に対応する技術が要求される。当社はこれら全ての工程を社内で賅うことができ、サンプル製造から量産まで対応可能である。

5 多種多様なものづくりを自社内で可能とする「プラスチック加工設備・技術」

株式会社ラヤマパック(葛飾区)



工業用から家庭用まで多彩なものづくりを可能にする設備が充実している。成形材料も数多く取り揃えており、自分のアイデアどおりの製品を具現化可能。日米特許取得の卓上真空成形機V.formerを有し、3DCAD設計チームも充実し、スピード感あるプロトタイプ開発体制が整えられている。PET、PP他、あらゆるプラスチックシート of 材料調達も可能。絵画の立体化、アイデア商品の開発、オリジナル製品制作等、BtoC商品の企画開発に積極的に取り組んでおり、材料の素材選定から製品製造まで社内で完結できる環境が整っている。

6 伝統的な染技法“東京本染(注染)”による「両面染色技術」

東京和晒株式会社(葛飾区)



東京本染(注染)は明治時代に開発された日本独特の染技法で、ゆかたや手ぬぐいなどの小巾綿布を染めるのに用いられてきた。「両面が等しく染まる」「1枚の型紙で同時に何色も染め分けられる」「ぼかし染めが出来る」などが特徴で、1回で20枚~40枚重ねて染められるので、手染めながら量産が可能な染め技法として定着していて、デザインを手軽に楽しみたい多くのファンとそれを供給するメーカー、店舗に支えられている。

7 透明樹脂素材を立体的かつ本物の金属に見せる「立体視・金属調印刷」

株式会社技光堂(板橋区)



透明樹脂素材に立体感(エンボス調)のある印刷と金属と見間違える程の高精細な金属調(スピンやヘヤーライン等)の印刷を行う技術で、従来金属で作成していたヘアライン・スピン・バイブレーション・緑青・鏡面・エッチング・エンボス等の様々な処理を印刷で表現することで、金属製ネームプレートからの代替を実現した。素材を変更したことにより、コスト削減、軽量化、薄型化、腐食しない等のメリットがある。この技術で、2017年度板橋製品技術大賞において優秀賞を受賞している。

8 金属の表面にデザインを付加する「彫刻・エッチング技術」

株式会社特殊阿部製版所(江東区)



アルミ・真鍮・ステンレス素材の平面及びR曲面に、彫刻及びエッチングにて、細かい絵柄や文字などをデザインに合わせて加工ができる技術を保有している。彫刻では、CADや3Dスキャンしたデータを元に、マシンニングセンターにてアルミや真鍮などの金属素材に対し、平面かつ立体的に切削加工した後、表面を鏡面になるように磨き入れ、自動彫刻機や手動彫刻機にて形状・デザインに合わせて彫刻を施すことができる。エッチングでは、アルミ・真鍮・ステンレス素材の平面以外にも特殊な技法を使用して、立体的に加工できることも希少といえる。

9 精油の魅力を引き出す「アロマブレンド技術」

GRASSE TOKYO(グラーストウキョウ)株式会社(江東区)



心地よいと感じる精油(100%天然のエッセンシャルオイル)のブレンド技術を応用した商品開発を目指す。また、成分分析データを活用し、エビデンスに基づいた人体への作用などを考慮した精油化学の観点からも相性を研究中。心と体に働きかけるアロマブレンドの技術を応用し、精油の魅力を多くの方々知ってもらうための新商品や新事業創出を行って行きたい。

各テーマの詳細は、東京ビジネスデザインアワードのオフィシャルサイトをご覧ください。

<http://www.tokyo-design.ne.jp/award.html>